

北朝鮮が核実験

下野新聞

しもつけ

発行所 宇都宮市昭和1丁目8番11号
〒320-8686

下野新聞社

電話 028-625-1111
郵便振替口座 00180-1-623433
©下野新聞社2017

読者室 028-625-1179
(受付 月～金・午前10時～午後6時)
編集局 028-625-1121
販売 028-625-1120(販売)
事業局 028-625-1134(事業・教育)
営業局 028-625-1133(広告)

PC・スマホ・携帯でも
下野新聞 検索

下野新聞社ホームページ
<http://www.shimotsuke.co.jp/>

電子号外

下野新聞購読お申し込みは
フリーダイヤル
0120-810081

購読で、スマホで最新のニュースを!!
下野新聞
SOON
月額 250円(税別)
下野新聞 検索

「断じて容認できなない」 強く抗議

トランプ政権下で初

日本政府によると、北朝鮮北東部で日本時間の3日午後0時29分ごろ、マグニチュード(M)6.1の地震波が観測された。河野太郎外相は核実験だと断定した。安倍晋三首相は記者団に対し「断じて容認できない」と述べた。北朝鮮の核実験は昨年9月9日の建国

記念日以来で、今年1月のトランプ米政権発足後は初めて。場所は北東部の豊溪里(ブンゲリ)とみられ、爆発規模は過去最大。

北朝鮮国営メディアは3日、金正恩(キムジョンウン)朝鮮労働党委員長が、新たに製作した大陸間弾道ミサイル(ICBM)搭載用の水爆を視察したと報じていた。北朝鮮は米本土攻撃のための水爆実験成功を主張する可能性もある。

北朝鮮は7月4日にICBM「火星14」の初の発射実験を実施し28日には2回目を強行。射程は米シカゴやロサンゼルスに届く1万キロ超の恐れがあるとみられている。

国連安全保障理事会は8月5日、制裁強化決議を採択。トランプ政権は米本土を攻撃できる核ミサイルの保有を阻止するため「あらゆる選択肢」を排除しないとしており、緊張が高まるのは必至だ。

北朝鮮は8月29日には米軍の要衝グアムを射程に収める中距離弾道ミサイル「火星12」(最大射程5千キロ)を発射、北海道上空を通過し、太平洋の公海上に落下させた。



5月18日に撮影された、北朝鮮・豊溪里にある核実験場の衛星写真。丸で囲った部分に、新たに建設が始まったとみられる建物が写っている(デジタルグローブ/38ノース提供・Getty Images共同)

